

□K-sine社製 A-6795 超音波発振器

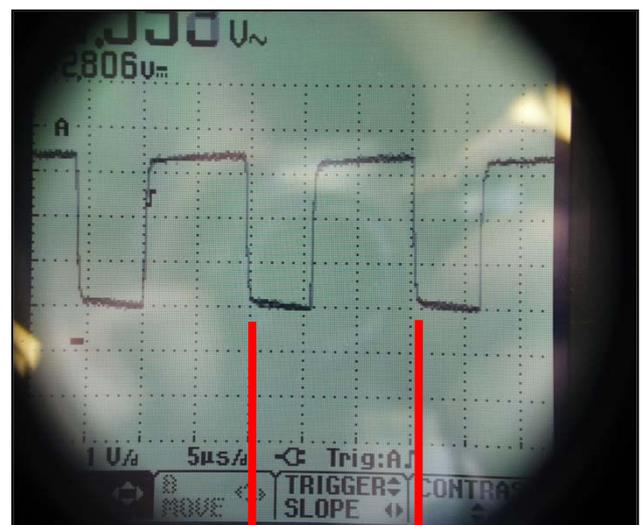


1、OSCILLATOR MODULE(モデル1410K)交換後の校正内容 ※オシロスコープ又は周波数カウンターをご用意下さい。

- ①TP2にプローブを接続して下さい。
※プローブのGNDは本体の筐体に接続して下さい。
- ②装置の電源を入れて下さい。
 <オシロスコープの場合>
 写真のような波形が出力されますのでR36可変抵抗のボリュームを回して $15.75 \mu \text{ sec}$ に調整して下さい。
 <周波数カウンターの場合>
 R36可変抵抗のボリュームを回して63.5KHzに調整して下さい。



TP2端子 R36可変抵抗



$15.75 \mu \text{ sec}$
63.5(±0.5)KHz

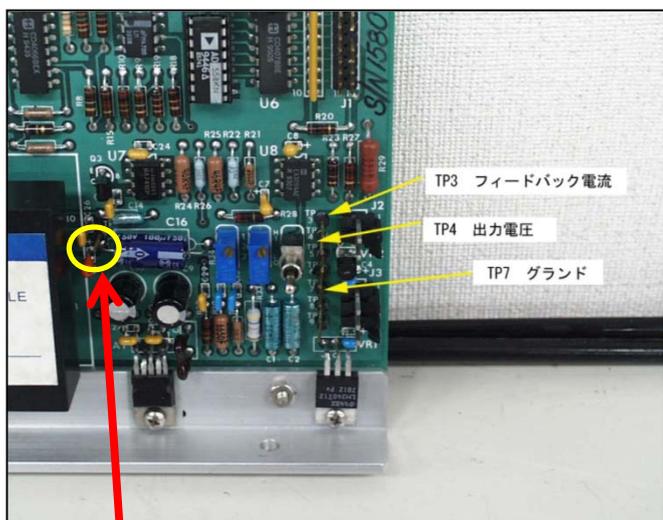
- ③TP1にプローブを接続して下さい。
※プローブのGNDは本体の筐体に接続して下さい。

<オシロスコープの場合>

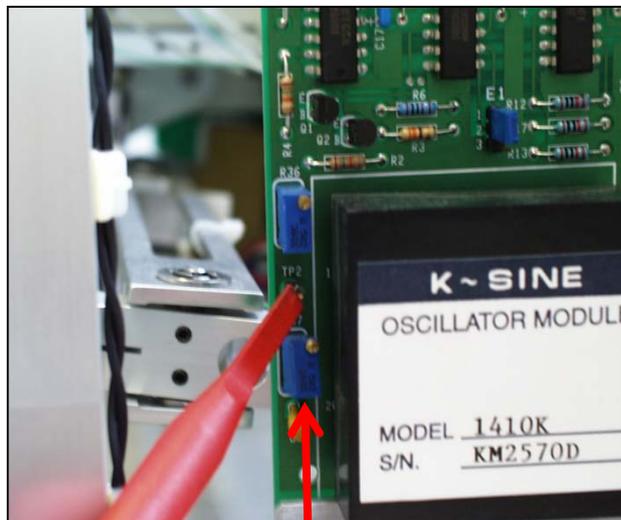
写真のような波形が出力されますのでR37可変抵抗のボリュームを回して15.75 μ secに調整して下さい。

<周波数カウンターの場合>

R37可変抵抗のボリュームを回して63.5KHzに調整して下さい。



TP1端子



R37可変抵抗